

## ○共同土砂処分場の整備に要する経費

### 現状・課題

- 熊本県の有明海沿岸の干潟域に位置する漁港は、土砂が堆積しやすく、継続的に泊地・航路のしゅんせつ工事が必要であり、その土砂処分場の確保が課題となっている。
- 市単独によるしゅんせつ土砂処分場の建設は財政的に極めて困難であるため、共通の課題を抱える県、玉名市、熊本市及び宇土市において、共同土砂処分場の整備を実施することとなっている。
- 住吉漁港(宇土市)⇒玉名漁港(玉名市)⇒学料地区(熊本市)の順番で、県を含む4者の費用負担により共同土砂処分場の整備を実施する予定。また、熊本県の港湾部局と連携し、県が整備する長洲港土砂処分場へしゅんせつ土砂の搬出を行う。
- R4年度～R7年度にかけて、宇土市にて整備に伴う環境影響評価に係る調査及び概略調査設計を実施している。また、R7年度より、整備に向けた詳細設計に着手した。

費用負担の内訳構成

熊本県 18%		熊本市 32%		玉名市 36%		宇土市 14%	
国費 1/2	地方債 1/2	国費 1/2	地方債 1/2	国費 1/2	地方債 1/2	国費 1/2	地方債 1/2

### R7年度 事業概要

- 事業費: R7年度 48,000千円 (国庫補助1/2) (※全体事業費1.5億円×32%)
- 事業内容 しゅんせつ土砂処分場整備に向けた詳細設計及び埋立申請  
仮設工事用道路の設置工事

### イメージ図



市管理漁港



事業期間	調査: 令和4年度～令和7年度 整備: 令和7年度～令和11年度
事業費	調査: 1.8億円 整備: 40億円 (うち熊本市負担: 約6.4億円)